



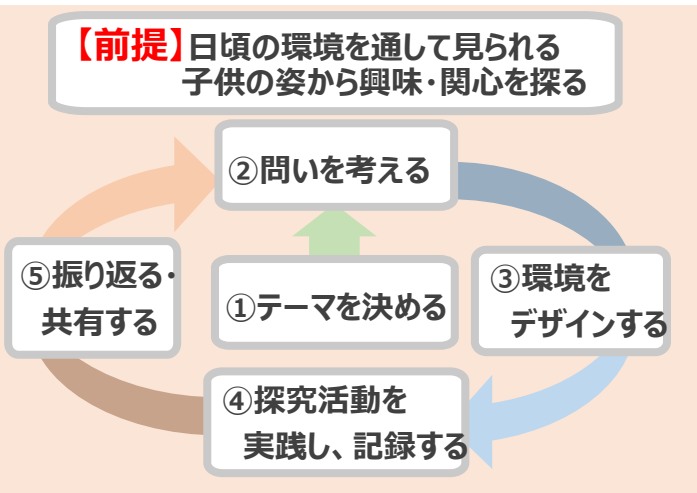
各園の環境や強みを活かしながら、「光」「音」「植物」など各園が設定するテーマに沿って、乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を実践し、非認知能力の向上など、幼児教育・保育の充実を図る幼稚園・保育所等を支援

補助事業概要(予定)

実施施設	幼稚園、認可保育所、認定こども園、認証保育所、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、認可外保育施設（企業主導型保育事業所等）
対象児童	上記施設に通う0歳児から6歳児
補助内容	備品購入費、人件費、研修費等、プログラムの実践に係る経費 1園あたりの上限額：1,500千円（令和8年度）
負担割合	都：10/10（6年間） ※補助の新規採択は令和8年度が最終
スケジュール (予定)	令和8年4月 要綱等発出 ※補助要件については次ページ参照

補助要件（実施要綱 第5に記載）

◆「とうきょう すくわくプログラム」に基づき、乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を一定程度継続的（月を単位として複数月）に実践する。



とうきょう すくわくプログラム推進事業実施要綱 第5 事業の内容
 探究活動の実践に当たっては、下記を実施すること。

- ① (1) 幼稚園・保育所等の各施設の環境や強みを活かしながら、乳幼児の興味・関心に応じたテーマを設定する。
- ② (2) テーマに関する乳幼児の興味・関心を探るため、問い掛けやアプローチなどを行う。
- ③ (3) 乳幼児の興味・関心を広げたり深めたりできるような素材や道具を準備し、環境を構成する。
 (4) グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。
- ④ (5) 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。
 (6) 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。
- ⑤ (7) 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。
 (8) 幼稚園・保育所等の各施設の教諭・保育者同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。
 (9) 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。

◆東京都が実施する研修会等に参加する。

- ・都が、令和8年3月下旬に**研修会等動画**（※）の**配信を開始**
 - ・各園は、**研修会動画を視聴しアンケートへ回答した場合、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの取組が補助対象**となる
- ※実践年数に応じた研修会動画を視聴（配信日以降、いつでも視聴可能）

◆活動報告書等を作成し、園のホームページ等で公表する。

外部委託等について

本事業の実施に際しては、**保育者が探究活動の5つのプロセスのすべてに主体的に関わり、保育者自身の知見を深めることが必要**です。このため、活動へのサポートの位置づけで部分的に外部委託等により実施することは可能ですが、**すべてを外部委託等で実施し、保育者が関わらない場合は、補助対象外**となります。

また、一部の事業者等が、教材やプログラム等を、「とうきょう すくわくプログラム」の推奨がある等として、広告、販売しているケースがあるようですが、**東京都が特定の教材やプログラム等を推奨することはしていません。**

本内容は、FAQ への掲載や補助金申請に当たりご視聴頂く動画等、様々な場面で周知しておりますが、改めてご留意頂きますようお願いいたします。

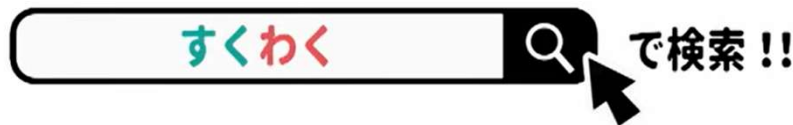
「とうきょう すくわくプログラム」の広報展開



すくわくポータルは、保護者や幼稚園・保育所等に具体的な活動内容や、実施園の状況等を発信・共有するポータルサイトです。

※園の先生向けの関係者ページは、ログインが必要となります。

東京都の各所管局又は区市町村から園宛にお伝えしているIDとパスワードでログインしてください。



ログインせずにご覧いただけるコンテンツ・機能

● 動画

- ・プログラムの意義についての対談
- ・探究活動の流れの解説
- ・活動の様子（色・音・自然）



● 事例紹介資料

- 新 丸わかりブック
- 新 実施園の先生対談
- 新 ナビゲーター園の取組・すくわくプログラム



● 実践園検索

- ・所在地から
- ・施設の種類から（幼稚園や保育所など）
- ・テーマから（色、自然、音など）

● ロゴのダウンロード

- ・無料でダウンロード
- ・取組PRへ活用

園の先生向け（要ログイン）

● 実践に関する情報

- 新 ナビゲーター園見学情報等
- ・探究活動のヒント集
- ・研修会等動画
- ・PRチラシ（園の取組自由記載バージョン）

● 各種お知らせ

- ・研修会や報告会等、東京都からのお知らせ

● チャットボット

- ・頻度の高い質問に対応
- ・すくわくポータル内の回答掲載箇所にアクセス

※園の先生向けページは、幼稚園・保育所等を対象とした限定公開です。第三者への共有等はお控えください。



2026年度

【新規】事業成果発信を目的とし、シンポジウムを開催予定

令和5年度の実践協力園の実践を踏まえ、**探究活動の工夫**や**子供の好奇心・探究心を高めるヒント**を、具体的な活動事例とともに、令和6年3月に「とうきょう すくわくプログラム」として取りまとめました。

令和7年度は**プログラムに取り組むにあたり確認頂きたい点**や、令和6年度の**各園の実践を踏まえたアンケートの回答結果**をまとめ、再編しました。取組にあたり是非ご確認ください。



東京都子供政策連携室ホームページに掲載



▼一部のページ

活動の流れ：【前提】
日頃の環境を通して見られる子供の姿から
興味・関心を探る

子供が何を好きか、何に関心を持っているか、子供をよく見ます。

【興味・関心を探る】

例)

- ✓ 自然光に気づく、影を不思議がる、水面をじっと見つめる、聞こえた音を当てようとする、虫や石を集める姿がある
- ✓ かるた遊び、段ボールや折り紙で制作する遊び、水たまり遊びを楽しむ姿がある
- ✓ 動物園通足をきっかけに動物の生態に興味を持つ姿が見られる、果物狩りを楽しむ姿が見られる

子供の姿から

園の先生から見て、「すくわくプログラム」の取組により、子供の好奇心・探究心や意欲が高まっている姿があった

探究活動を重ねた子供に、日常の幼児教育・保育の中で以下の変化はあったと感じたか ※複数回答 対象：園の先生 (n=1,586)	割合
物事への興味・関心が高まった (好奇心・探究心)	73%
自分から『これがやりたい』『試したい』と積極的に発言したり、行動するようになった (意欲)	63%
進んで友達と協力するようになった (協同性・コミュニケーションを取る力)	38%
友達の考えに耳を傾けるようになった (共感)	36%
言葉や体の動き、絵などにより、自信を持って自分を表現するようになった (自尊心・自己肯定感)	32%
物事に粘り強く取り組むようになった (粘り強さ)	24%

CEDEPのコメント

✓「物事への興味・関心が高まった」が最も高く、次いで「自分から『これがやりたい』『試したい』と積極的に発言したり、行動するようになった」であった。探究活動の経験を重ねたことが、日常の幼児教育・保育の中での子供の姿の変化につながることで実感されており、特に、**好奇心や主体性といった側面を伸ばす可能性が示された。**

✓これらの側面は、子供の物事への興味・関心を深め、問いやねらいがありながらも決まったゴールを定めずに子供自身の考えに耳を傾ける「探究活動」がめざすところと関連が深い非認知能力の側面である。この結果は、園で探究活動が、その目的についての一定の理解をもって実践されており、子供の育ちにつながっていることが、子供の日常の姿において実感されていることを示している。

✓また、「進んで友達と協力するようになった」、「友達の考えに耳を傾けるようになった」は4期近くは連年通りであり、探究活動が協同性や他者の考えへの関心にもつながっている場合もあることが示唆される。このことは、保育者や友達と共に行う活動であることにより、個々の子供の好奇心や主体性を育むのみならず、協働して探究することの学びや育ちにもつながっている可能性を示唆している。

次回募集時期調整中
詳細が決まり次第お知らせします！

令和8年3月

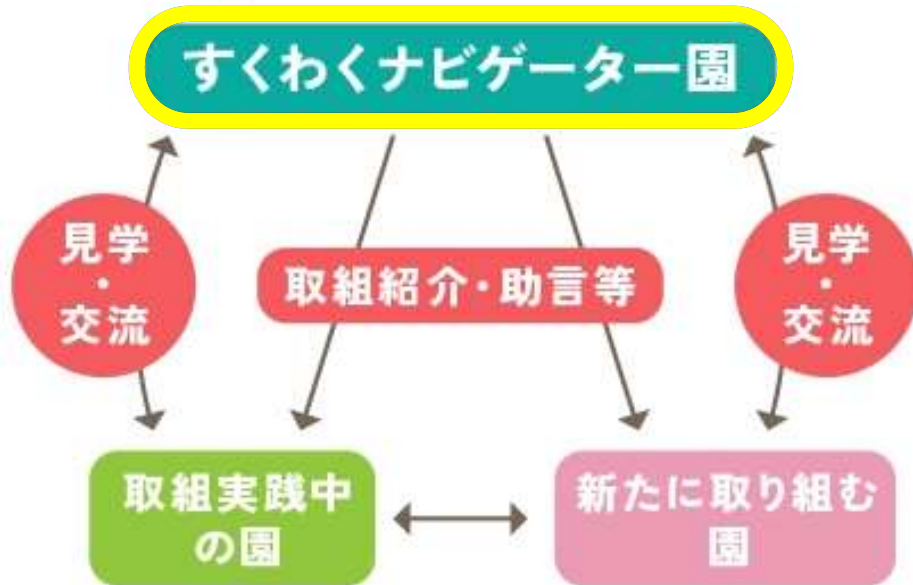


ナビゲーター園とは

「とうきょう すくわくプログラム」に取り組む園同士の学び合いのネットワーク

の中核となる園

園同士のネットワークを創出



ナビゲーター園の活動内容

- ✓ 探究活動の紹介… 探究活動の様子を、自園のホームページ等で発信
- ✓ 質問等への助言… 探究活動に関する他園からの質問等に応じ、適宜助言(対応できる範囲内)
- ✓ 見学受け入れ… 探究活動を実施する際、見学を受け入れ(日程調整は都が実施)

参加のメリット3点

更なる拡充へ、
調整中！

- 1 すくわくポータル上で園の探究活動を **都がPR**
- 2 オンライン形式で **多様な専門家へ相談可能**
- 3 CEDEPが主催するイベントへ **優先的に参加**

すくわくプログラムを一緒に広め、深める仲間になりませんか

詳細は、すくわくポータル応募ページをご覧ください▶▶

